



坂田芳郎 議員

Yoshio Sakata



新年度予算

トピックス

質疑あれこれ

一般質問

議会用語

追跡

Q. 名古屋市との合併話につき尋ねる・その2 A. 町の方針が変更になったことはない

Q 昭和47年4月1日付、役場企画課より、〈将来の豊山町／都市計画の基本構想〉なる行政の指針本が刊行された。

項目、「計画の背景」として「わが国土のほぼ中央部に所在し（中略）名古屋市と隣接（中略）大都市編入としての将来が約束されるようになってまいりました」と、客観的本質を見抜いた切望の記述がある。「計画の目標」では、「当然大都市に合併（中略）将来どのような街にしながら合併すべきかと（中略）目標を設定してみました」とある。それが年月を経て、先の議会において町長曰く「合併について考えたこともない」と答弁している。

伺いたい。如何なる理由により、真逆の道を鈴木町長は進むのか。

刊行当時の役場中堅職

員であったにもかかわらず。

A 町長
名古屋市との合併

については、平成27年9月議会で、「私が町長に就任した以降、公式、非公式を問わず、本町からアプローチしたことも、名古屋市からアプローチがあったこともない。また、合併について考えたことも、庁内組織に検討を行わせたこともない。」とお答えした。

また、昭和47年に策定された「将来の豊山町」については、当時の時代背景・社会情勢を踏まえた都市基本構想がまとめられたものであり、名古屋市との合併構想ではないと認識している。

さらに、第一次から第4次までの総合計画においても名古屋市との合併、あるいはそれに向けた協議について言及したものは無い。したがって、

私にとって名古屋市との合併に対する町の方針が変更になった事実はない。



▲行政の中心